

令和5年度 部活動改革に向けた実態調査結果について (保護者用)

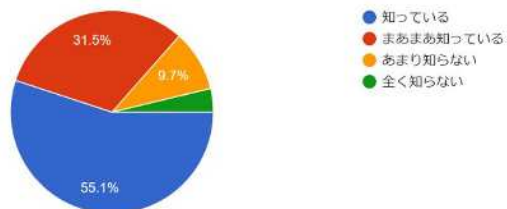
No. 1

【一中、四中、東部中学区】

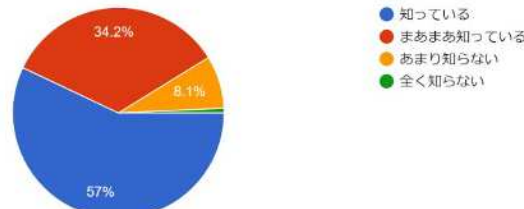
【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

1. スポーツ庁、文化庁の動きを受け、酒田市では休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？ 【全員回答】

267 件の回答

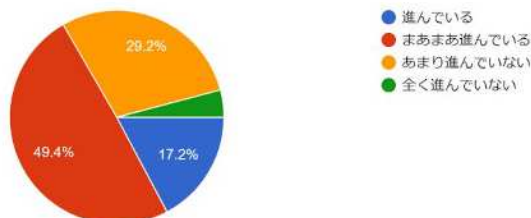


284 件の回答

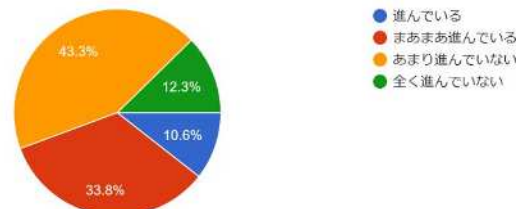


2. 現在、学校部活動の地域移行が進んでいると感じますか？ 【全員回答】

267 件の回答

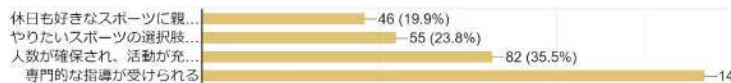


284 件の回答

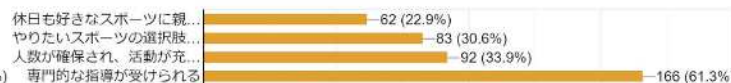


3. 学校部活動を地域クラブに移行した（した場合）メリットがあればお答えください。【複数回答可】

231 件の回答

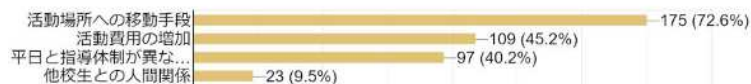


271 件の回答

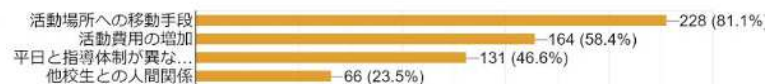


4. 学校部活動を地域クラブに移行した（した場合）デメリットがあればお答えください。【複数回答可】

241 件の回答



281 件の回答



5. 学校部活動を地域クラブが担うことで、家庭の費用負担が発生する場合、月毎の費用負担額はどの程度が適当であると考えますか。

平均:約3,750円

最大:30,000 円

最小:0円

平均:約3,450円

最大:65,000 円

最小:0円

考察

8～9割の保護者が理解していることから、部活動自体や地域移行については保護者の関心が高いことが伺える。

地域移行の受け皿がある左の学区については7割近くが進んでいる実感があるが、受け皿のない右の学区は5割を切っている。やはり受け皿となるクラブの設立が急がれる。

専門的な指導が受けられることへの期待が高い。また、団体種目のチーム編成も望んでいる。

活動場所の広域化による移動手段がどの世代もネックと感じている。

月毎を年間と勘違いしている保護者もいると思われる。一定の受益者負担は容認している。